

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 375

事務事業名	市民交流プラザ運営事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	商工振興課		
課長名	高取 和也	内線	240
担当者名	中村 惇耶	内線	245

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040201	活力ある商工業の振興
施策		商店街の振興
関連施策		

会計	一般会計		
款	7	商工費	
項	1	商工費	
目	2	商工業振興費	
事業コード	020300	市民交流プラザ運営事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 中心市街地への来街者		
意図	対象をどのような状態にしたいか 「人と人とがふれあう、賑わいの交流拠点」をコンセプトに、市民交流プラザを運営することにより、中心商店街の来街者を増加させ、賑わいの創出を図る。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か ・運営業務委託(受付業務、ホール運営、自主事業開催委託料、館内清掃等) ・委託料(上記業務を除く各設備、機械警備等の保守管理費) ・ほか施設の維持運営に必要な費用		
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	大村市民交流プラザ条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 市民交流プラザ開館日	計画値		121	347	347	
		実績値	日		134	348	
	市民交流プラザの開館日数	達成度	%		110.7%	100.3%	
② 自主事業の開催回数	計画値			63	20	15	
		実績値	回		15	20	
	ホール、キッチンスタジオ等での自主事業の開催回数	達成度	%		23.8%	100.0%	
成果指標	① 商店街歩行者通行量	計画値		8,320	8,320	10,550	複合ビル供用開始(H28.4)
		実績値	人		10,355	7,382	
	商店街6地点の平日と休日の平均歩行者通行量	達成度	%		124.5%	88.7%	
	② 施設利用者数	計画値			80,000	250,000	
実績値		人		103,227	260,012		
	施設利用者数(こども未来館利用者を含む)	達成度	%		129.0%	104.0%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	11,588	45,048	38,675	48,728	48,797	48,395	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他		2,921	4,066	6,177	6,716	6,716	6,716	
一般財源		8,667	40,982	32,498	42,012	42,081	41,679	
② 人件費(千円)	0	9,947	8,180	4,205	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)		1.10	1.10	0.52	施設運営業務	施設運営業務	施設運営業務	
時間外勤務(時間)		817	211	212				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	21,535	53,228	42,880				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	稼働率向上のため、各施設を利用し、自主事業を行うことでプラザの施設利用促進を図った。
事業が抱える問題・課題等	中心市街地への来街者増加を図っているが、現状目標としている程には至っていない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民の交流活動及び子育て支援拠点として、中心市街地の交流人口と地域コミュニティの再生を図ることとしており、これらの目標を具現化するためには、当該施設の効果的な運用が必要である。						
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
中心市街地への来街者の増加や賑わいの創出を図るうえで、核となる市民交流プラザの運営に市の関与は必要である。							
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民の交流活動及び子育て支援拠点として運営することにより、来街者の増加及び回遊性の推進により市街地の活性化が図られる。						
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
地元商工者と連携し、市民交流プラザやアーケードを活用した事業推進は、中心市街地の魅力向上に有効な手段であり、中心市街地活性化に資するものである。							
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	管理運営を委託することにより、可能な限りローコストに努めている。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
使用料については、歳入確保対策基本方針に基づき算定するとともに、関係団体や市民の意見を反映し設定する。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	現状稼働率が低い施設のさらなる周知・稼働率向上を図りながら、現在の施設来館者数を維持できるよう、自主事業及び施設の利用促進に取り組む。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	市民交流プラザを運営することにより、中心市街地への来街者を増加させ、賑わいの創出を図る。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。